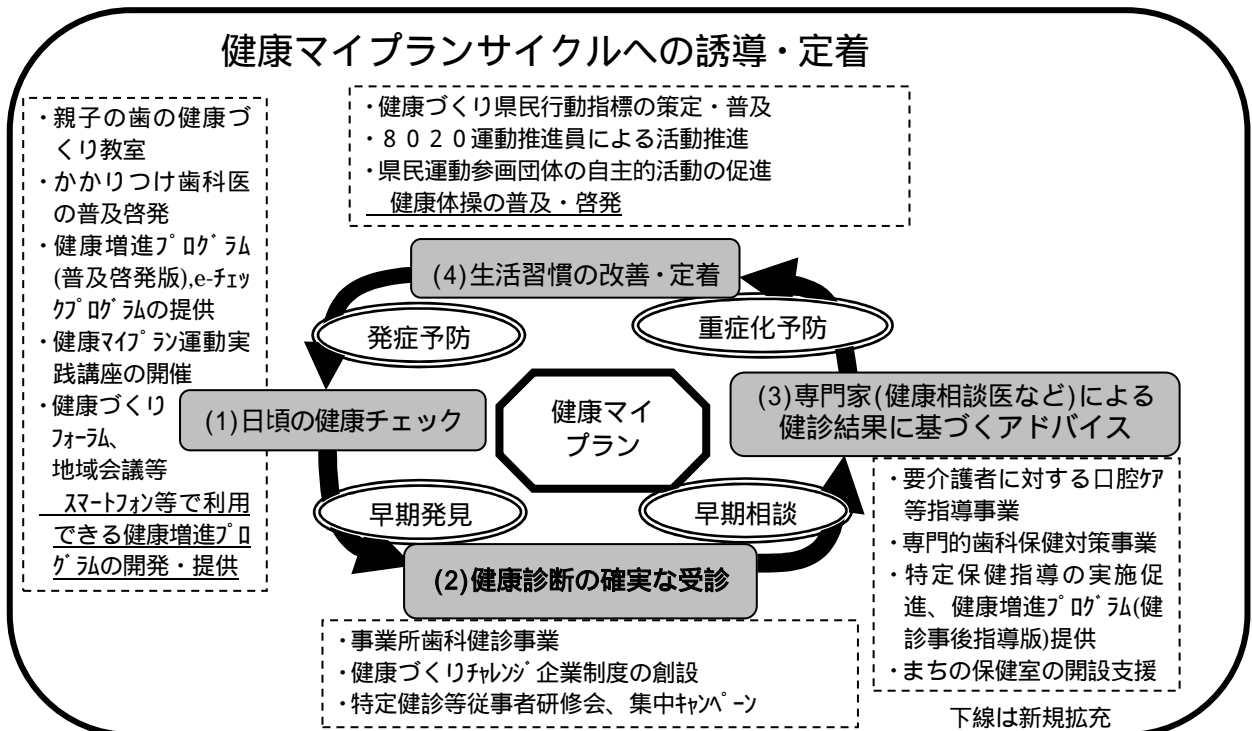
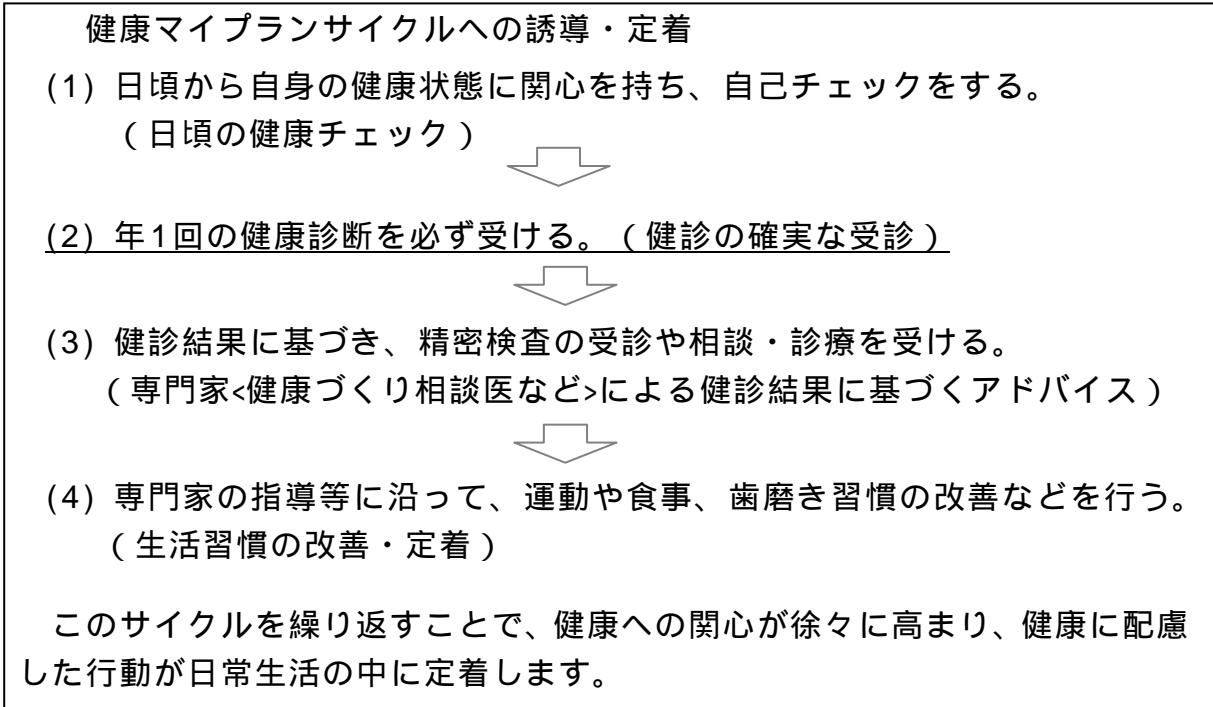


検討のポイント

歯と口腔の健康づくりに関する健康意識を高めるために、各団体の取組や課題について、ご意見を賜りたいと思います。

健康診断の確実な受診、生活習慣病等の重症化予防を推進するためには、健康づくりへの関心を高める機会を数多く設ける必要がある。



は、県で実施している取組例

これらの一連の流れを「健康マイプランサイクル」として、県民への働きかけや支援を戦略的に展開し、健康への関心を高め、結果として、健診受診率の向上、適切な受診行動などにつなげたいと考えています。

そこで、健康意識を高めるために、「健康マイプランサイクル」を構成する、

(2) 健康診断の確実な受診

について、各団体での課題や、今後どのような取組を行うことができるかについて、ご意見を頂きたいと思えます。

(第1回8020運動推進部会で検討頂いたご意見等を、参考資料としてまとめておりますので、ご参照下さい。)

<参考1>

兵庫県健康づくり推進実施計画における主な歯科健診関連指標について

区分	項目	現状値	目標値 (平成29年度)	歯科口腔保健の 推進に関する基本的事項 目標値(平成34年度)
基本項目	かかりつけ歯科医をもつ人の割合の増加	70.0% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	84%	-
歯と口腔の健康づくり	妊婦歯科健診、または歯科専門職による相談に取り組む市町数の増加	25市町 (61.0%) (平成24年度市町歯科保健対策実施状況調査)	41市町 (100%)	-
	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合の増加(20歳以上)	46.9% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	56%以上	65%
	定期的な歯石除去や歯面清掃する人の割合の増加(20歳以上)	24.6% (平成23年度兵庫県健康づくり実態調査)	30%以上	-
	障害者(児)入所施設での定期的な歯科健診実施率の増加	65.8% (平成24年度健康増進課調)	80%以上	90%
	介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科健診実施率の増加	28.9% (平成24年度健康増進課調)	35%以上	50%

介護老人福祉施設：32.2%、介護老人保健施設：22.2%

<参考2>

第1回8020運動推進部会における主な意見（歯科健診関連課題）

対象者への働きかけ方の工夫

<意識の低い方等への受診促進>

歯科健診受診のために足を運ぶことは、県民にとってハードルが高い。

市としての啓発は必要だが、最終的に本人の意識による部分が大い。

患者団体に属していない方、自宅療養中の方等へ広く情報を啓発する方法を検討している。

<家族ぐるみでの受診促進>

企業での歯科健診は、家族や配偶者に対する事業を実施しにくい。

家族ぐるみで口腔ケアができていない場合がある。

<さらなる連携の必要性>

8020運動の達成に向け、各団体で様々な取組を進めているが、各団体レベルで困難な部分について、情報共有・連携を進めていく必要がある。

歯科専門職の職能団体は、各機関へ取組推進を働きかけていく役割でないといけないと考えている。

地域の中での効果的な事業展開について

<全身の健康づくりと関連した取組の推進>

病院歯科では、予防的介入まで手が届かない部分がある。

歯科衛生士会、栄養士会等との連携を進めていく必要があるが、保育園として何をすべきか、何を期待されているのか探っていく必要がある。

<取組格差の是正>

介護老人福祉施設・介護老人保健施設では、入所者の滞在日数が異なる等の施設形態の違いもあるが、区分により取組状況の差がある。

保育園や学校健診の場において健診時の口腔ケアに関する指導、健診後のフォローを推進しているが、地域や各機関により、取組状況の差がある。

56 健保組合のうち8 組合ほどが、毎年被保険者に歯科健診を実施。企業によっては1000 人規模で歯科健診を実施している。